

対応状況報告書

大 学 名： 岐阜大学
 評価実施年度： 令和元年度

対象となる基準	基準5-3
改善を要する点	○医学系研究科修士課程看護学専攻において、入学定員を大幅に下回っている。
対応状況	令和2年度看護学専攻入学試験（令和元年度実施）では、定員8名に対し、入学者は7名であり、入学定員充足率は88%であった。単年度においては、改善に向けた取組の成果が表れてきているが、平成28年度から令和2年度までの5年間の入学定員に対する平均比率は60%であり、現時点で改善された状況にあると判断できない。

対象となる基準	基準6-3
改善を要する点	○地域科学部において、教育目的と履修の方針との関係が不明確となっており、教育課程の編成が体系性を有していない。
対応状況	<p>1. 地域科学部規程の見直し</p> <p>学科ごとの教育目的、授業科目及び卒業要件等が不明確であったため、令和2年4月1日付けで、次の事項に関する見直し等に伴い所要の改正を行った。なお、令和2年度入学生から適用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科所属時期に関して明記 ・教養科目及び専門基礎科目、専門科目、自由選択科目の見直し ・学科別の卒業要件を明記 <p>2. 地域科学部履修の手引きの見直し</p> <p>地域科学部規程に合わせ、地域科学部履修の手引きを改訂し、学生に配付した。</p> <p>【根拠資料・データ】</p> <p>6-3-1-06_(02)岐阜大学地域科学部規程の一部改正について</p> <p>6-3-1-07_(02)2020年度地域科学部履修の手引 ※p6-p7、p29-p30</p>

(注)

1. 機構で受けた大学機関別認証評価において、「改善を要する点」として指摘された事項の対応状況について記入してください。
2. 「改善を要する点」には、評価結果報告書の「Ⅱ 基準ごとの評価」の【改善を要する点】に記載された内容をそのまま転記してください。
3. 「対応状況」には、「改善を要する点」として指摘された事項に関して改善された状況の具体的な内容及びその改善を実現した取組について、根拠資料・データ等とともに「対応状況」欄に記入してください。
4. 根拠資料・データ等は、その名称を記載のうえ、別添として添付してください。評価結果の追記公表の際に併せて公表しますので、資料番号については、既存資料と重複しないよう、既存資料の資料番号以降の連番としてください。
5. 令和2年または3年の6月30日までに改善していると判断していない事項については、対応の取組及び根拠資料・データ等に記載は求めないこととします。
6. 令和4年の6月30日までに改善していると判断していない事項については、対応状況欄にその旨のみを記載してください。